

あさひ西方見聞録

Vol. 14

題字：旭中学校 國澤 百加



▲『第14回学ぼう災』

▲高ノ森桜の手入れ

ごあいさつ

旭西部まちづくり推進会議
会長 天野 守章

私たちは、旭西部地域内の町内会・自治会・防災会・保育園・幼稚園や小中高の学校及び関係団体等と連携して、「安全で 安心して 住みよいまちづくり」を目的とした活動に取り組んでいます。

令和3年度は、過去に経験したことがない、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い全国的に各種行事・イベント等が中止になり、私たちも「地区民運動会」や「あさひ納涼祭」などが中止になりました。

令和4年度も、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら慎重に諸活動に取り組んでいく予定ですので、皆様方のご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

今号の主な内容

- 1 P ごあいさつ
- 2 P 第14回学ぼう災
- 3 P 高ノ森桜の手入れ
- 4～6P 学校だより（横内小学校、旭小学校、旭中学校、高知商業高等学校）
- 7～8P 保育園・幼稚園から（塚ノ原保育園、もみのき幼稚園・めだか園）
- 9～11P 活動団体紹介（あさひのこどもを守る会、旭小青少協、横内小青少協、ヤングジェネレーション高知、こども食堂とりごえ）
- 12P 塚ノ原駐在所から
令和3年度の活動



第14回学ぼう災

～旭西部地域防災フェア～



令和3年度の学ぼう災は、令和3年11月21日（日）に旭中学校の防災登校日とともに実施いたしました。今回は、旭中学校が改修工事のため訓練場所は運動場を中心に行い、コロナ感染拡大防止・訓練場所の規模等を考え、参加者は防災担当者及び関係者が対象で40人ほどの参加者でした。

訓練内容は、避難所での車中泊・テント泊駐車場等の設営、車で避難した方の受付から誘導、テント張り体験など避難の際に車中泊・テント泊を行う場合の運営訓練と避難する側の注意点などを高知市防災対策部の方に協力していただき訓練を行いました。また、トヨタ自動車さん、損保ジャパンさんのご協力により自動車装備による給電機能の紹介と湯沸かし体験など行いました。

今回の訓練で、受付の流れや駐車枠・テント枠の広さ、車と歩行者の接触を回避するための通路の検討など訓練後の振り返りでいろいろな意見があり今後のマニュアルに反映していきます。

コロナ禍により不自由な環境ですが、次回は多くの地域の方々が参加できる訓練が実施できればと思っていますのでよろしくお願いいたします。
＜旭西部防災連合会 事務局 大久保 光洋＞



高ノ森の桜の手入れ

毎年恒例となりました、高ノ森の桜の手入れを令和3年7月4日（日）と11月7日（日）に行いました。会員（地域住民・旭中学校・横内小PTA・その他諸団体等）及び地域内福祉施設等の皆様方の協力を得て、桜周辺の草刈りや山道の清掃をしました。過去に横内小児童等が植樹してくれた時の想いを忘れず、今後も大切に引き継いでいきたいと思ひます。

また、散歩コースとしても利用されている方も多く見かけます。まだご覧になったことがない方も、春には満開の桜、夏には気持ちのいい新緑を見ることが出来ますので、ぜひお散歩に出かけてみてはいかがでしょうか。（副会長 義澤 香奈）



令和3年11月7日（日）高ノ森の桜の手入れに参加しました。

私ははじめての参加でしたが、以前の仕事が土木関係だったこともあり、草刈り機の扱いは久しぶりでしたが、時間がたつと慣れてきました。わずか1時間ほどでした、坂を上って、草刈りをして、程よい疲れになりました。また、地元の方々と旭中学校の学生さんも手伝っていただき、感謝しています。

春になって、新しい芽が出て、綺麗な桜の花が咲くころには、地元の皆様に喜んでいただけると嬉しいです。最後に頂上付近からの見晴らしはすごくよかったです。また機会があれば参加させていただきたいです。

（株）三葉 職員）

参加した旭中学校の生徒から感想をいただきました

執行部としてボランティアに参加できてよかったです。桜の木の周りの草を刈りながらひっつき虫がいたり大変な一日ではありましたが、地域の方を中心に私たちも一生懸命したので綺麗な桜が咲いてほしいです。
（北村 柚季さん）

私はこれで4回目のボランティアに参加させていただきました。コロナ禍で地域との結びつきが薄れているからこそ、とても貴重なボランティアになりました。参加する度に成長している桜の木を見ると大変な作業もやりがいを感じました。また春に満開の桜が咲くのが楽しみです。
（山田 陽菜さん）

桜の手入れで、地域の人と一緒に作業をしました。そこでは、地域の人との協力や少しの会話などで、つながりができました。僕はあまり普段から地域の方と話したりしないので、難しかったけど、良い体験ができました。これからはもっと人との関わりを大切にしようと思いました。
（片岡 碧郁さん）

この前はおつかれさまでした。今回はひっつき虫が大変だったけど、ポカリをもらったときに、地域の方のあたたかさを感じました。来年、桜の季節になったら見に行きます。
（黒石 愛結さん）

今回はお手伝いさせていただきありがとうございました。高ノ森の桜がいつ見てもきれいな状態にいられるよう私もしっかり除草させてもらいました。1時間の作業でしたが、執行部がしたことでも高ノ森が変わればうれしいです。次から執行部も今まで以上にきれいにしていけるようにしていきたいです。今回は本当にありがとうございました。高ノ森の桜が今まで以上に美しく咲くようになりますように。
（中石 いとさん）

とても楽しかったです。何をしたらいいかわからなかった時も地域の方が優しく教えてくれてうれしかったです。おかげで地域の方と関わりが増え、交流できて良かったです。
（細木 心晴さん）



学校だより

地域内の4つの小・中・高等学校(横内小・旭小・旭中・高知商業高校)での取り組みを紹介します。



横内小学校

「心豊かな 横内の子」 少しずつ定着



本校は開校以来、学校図書館を活用した教育活動を推進しており、その取組については他校からも一定の評価を受けています。今年で24年目を迎えますが、時代が変わっても教職員の異動があっても、開校当時の教職員の意志を受け継ぎ、微修正を加えながら取組を継続してきました。

児童数の増加に伴う教室不足を補うための改築工事により、本校の図書館が、この春リニューアルしました。工事期間中の仮図書館への引越作業も、完成後の新図書館への引越作業も、児童と教職員で行いました。工事期間中は、活動に制限がかかりましたが、その分、完成後は、たっぷり使っています。「これだけ広くて環境が整っている図書館は他にないねえ」…これが、私たちの率直な思いです。そんな自慢の図書館及び蔵書等を活用して、昨年も各種の活動を展開しました。その結果、心豊かな本校の児童たちは、新聞感想文コンクール、読書感想文・感想画コンクール、こども小砂丘賞、アイイメッセージコンテストなどにおいて、立派な成績を収めることができました。また、伝統の灯を消さないよう、コロナ禍においても可能な方法で「辞書引き大会」「百人一首大会」等も継続しています。

学校現場は、GIGAスクール構想により1人1台のタブレットPCが導入されるなど、大きな転換期を迎えています。今後も「図書館教育」の先進校という自負を持ち、子どもに「付けるべき力」を明確にしたうえで、その実現のためにはどちらが適するののか、どのように組み合わせると効果が出やすいのか等を吟味しながら、横内小学校の「新たな図書館教育活動」を構築していきます。



学校賞
がっこうしょう

学校賞は、学級や学年を超えて全体で熱心に取り組み、優秀な作品が多く寄せた学校に贈ります。

小学校

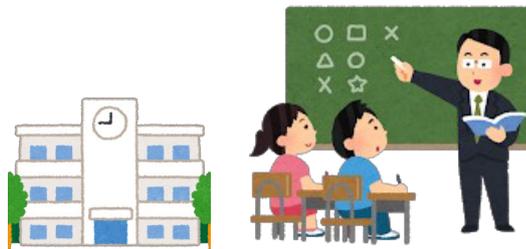
- 山形県寒河江市立寒河江中部小学校
- 茨城県結城市立結城西小学校
- 千葉県船橋市立飯山満南小学校
- 神奈川県横須賀市立夏島小学校
- 京都聖母学院小学校
- 大阪府和泉市立国府小学校
- 高知市立横内小学校
- 長崎精道小学校
- 鹿児島市立山下小学校
- 鹿児島県出水市立米ノ津東小学校



分類の表示は図書館支援員、図書館ボランティアによる手作りのものです。分類番号だけでなくキーワードを示すことで、低学年児童も利用しやすくしています。



旭小だより



やっぱりいいものです「音楽会」

2年ぶりの全校行事「音楽会」が、令和3年11月13日（土）に行われました。子ども達は9月より練習に取り組んできました。

吹奏楽部のファンファーレと演奏から始まり、各学年が練習してきた成果を思う存分に発揮し、心に残る音楽会となりました。初めての音楽会となった1、2年生も元気がはじける演奏でかわいらしさとパワーを体育館中に降り注いでいました。学年が上がるにつれその成長の足跡も感じられました。どの学年も「心を燃やせ旭に元気を感動音楽会」という目標通りに、みんなの心が一つになった演奏をしてくれました。子ども達の一生懸命な姿がみられる音楽会っていいものです。

入れ替え制という感染症対策を快く受け入れて下さった保護者のみなさんの子ども達を見守る温かな眼差しが印象的でした。子ども達はどの子もやりきった感いっぱい、音楽会を精一杯楽しめたように思いました。その子ども達の健康管理や応援していただいた保護者の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。



企画委員が音楽会がんばれの応援に
全学級に向きました



各学年感染症対策の工夫を
しながらの演奏でした



初めての大きな舞台に緊張しながらも
元気いっぱいの1年生

旭小PTAの子どもへの思いがみなぎった「あさひ☆スマイル☆デイ☆」

令和3年11月21日（日）には、初の試み「あさひスマイルデイ」が行われました。コロナ禍で行事が縮小される中、令和元年度まで実施されていた「きららフェスティバル」に代わる子ども達を楽しませる行事を！というPTA役員さんの思いが詰まったものでした。

PTA役員さん中心に、子ども達が本気で楽しめるものをと、試行錯誤しながら考えてくれました。そして「巨大神経衰弱」「似顔絵コンテスト」「思い出写真展」「フォログラム」という手作り感満載の4つの催し物で、子ども達は楽しい時間を過ごすことができました。

「巨大神経衰弱」はクラス対抗で盛り上がり、「似顔絵コンテスト」では各担任の絵に笑みが漏れ、「思い出写真展」では感想をいっぱい書き、「フォログラム」では、4,000枚の児童達の写真から作った校舎の絵からPCで拡大して友人を探すのに興味が尽きませんでした。各写真を提供していただいた保護者の方々や、当日までの準備や、当日の運営、片付けなど、PTA役員さんには多くのご尽力をいただきました。ありがとうございました。



全学年、クラス対抗で楽しんだ
体育館での「巨大神経衰弱」



あっ、〇〇ちゃんや！自分や
友達探しに夢中の「フォログラム」



催し物会場の案内係の役員さんは
みなお上手でした



旭中学校

～「第3の制服」を検討しています～

現在、旭中学校には、「詰襟学生服＋ズボン」を基本とする男子の制服と、「ボレロ＋ジャンパースカート」を基本とする女子の制服があります。

しかし、近年「男女の役割」についての認識が変化し、「男性だから」「女性だから」という固定的な考え方を脱し、性に対する多様な考えがあることを前提とする考え方が、社会のあらゆる場面で認知されつつあり、多様性への配慮が求められています。

加えて、長時間着用する制服の機能性や着用感などを重視する考え方から、「女性のパンツスタイル」は、あらゆる機会、職域において定着しつつあります。

このような背景から、現在、旭中学校では、これまでの制服に加え、男女共用の新制服、いわゆる「第3の制服」（「ジェンダーレス制服」）の追加導入をめざす取組をしています。

今回、生徒会では、制服の取扱業者さんの協力をいただき、新制服の導入にあたっての学習会を行いました。

LGBTQに関する基本的な学習や、多様性を認め合う社会づくりについての学習とともに、ジェンダーレス制服の全国的な動きについて学びを深め、現在、導入する学校が増えつつあるブレザータイプの制服を実際に試着しました。

生徒からは、「ズボンの制服って、一回はいてみたかったがよね…」、「何か、大人になったみたい」といった新しい体験や発見の感想とともに、「すごい動きやすい」、「軽い」、「濡れても乾きやすそう」といった機能面についての感想も出され、制服の在り方についての理解が深まるきっかけになりました。

旭中学校では、令和4年度から、「第3の制服」について本格的な検討を行い、令和5年度からの導入をめざして取り組みを進めていきます。



高知商業高等学校

～地域と共に成長～

幼稚園児の夢を商品にしよう！ プロジェクト

令和3年度ラオス学校建設活動の一環として、幼稚園児の夢を商品化するプロジェクトに取り組んできました。昨年11月に幼稚園児に描いてもらった夢の絵を高知商業生が商品化し、令和4年1月11日（火）にもみのき幼稚園の園児にお届けしました。今後もうオスと高知の両方の発展を目指し、地域に貢献できるプロジェクトに取り組んでいきます。



お弁当お惣菜大賞2022 最優秀賞 社会マネジメント科地域実践コース

本校、社会マネジメント科地域実践コースと「サンプラザ塚ノ原店」が共同開発した、タイの郷土料理「TOSA-GAPAO」が「お弁当お惣菜大賞2022のタイ・ベトナム料理部門」にて全国約3,000点の商品の中から、最優秀賞に選ばれました。高知県産の食材を生かした優しい味付けとなっています。これからも地域に貢献できる活動を続けていきます。



保育園



幼稚園から

塚ノ原保育園



令和3年度も新型コロナウイルスの収束が見えないなか、最近はまだ感染者数も増加しています。そんななかでも、子どもたちが楽しく過ごせるように、日中の生活はもちろん、少しでも多くの行事等に参加できるように工夫をしながら保育を行っています。

1月は、かるたやこま回しなど、伝承遊びを取り入れています。誕生会でも、何人かの職員がこま回し名人として披露しました。名人たりとて、成功する時もあれば失敗する時もある・・・「できんかった時、ぼくお胸が痛くなった。」終わった後、ぽつりとある男の子が言いました。大人でもなかなか言えない、ほんとに子どもながらの素直な気持ちを聞いて、とてもほっこりしました。

また、毎日年齢ごとに長さを決め、寒いなか走って体力づくりをしてきました。そして最終日は、『寒さに負けないマラソンごっこ』です。走る前の準備体操も日々違って、「今日は何やろう～？」と曲を楽しみながら、また、年長児はお手本として前に出て体操をしてくれました。

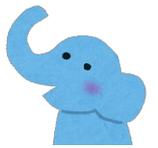
途中でこけたり、嫌になって投げ出してしまいそうになる時でも、お友だちの「がんばれ～!!」「ファイター!」の声援に励まされながら、最後まで走り切ることができていました。

いろいろな経験を通して一つひとつ成長していき、お友だちを大切に思う心も育ってくれたらいいなと思います。
〈園長 藤本 紗知〉





もみのき幼稚園・めだか園



令和3年4月から、もみのき幼稚園はクラスを異年齢グループで編成し、同学年のみの学びではなく、異年齢の良さを活かす保育教育を行ってきました。まずは、日々の生活を異年齢と一緒に過ごすことで戸惑いもありながら、様々な交流を通して、自分と他者との違いを知り、お互いを認め尊重する場ができてきました。そして行事や自然活動の中で、色々なことにチャレンジしようという意欲や関心を持ち、お互いひとつのことをみんなでやり遂げる経験を重ねてきました。

異年齢の中でのトラブルはもちろんあります。トラブルの中で自分が気づいたり、友だちから気づかされたり、思い通りにならず悔しい思いをしたり、仲直りしたり。不安が安心へ変わっていく、安心が自信に繋がっていく。子どもたちは遊びの中で何度もこんな体験をしてきました。日々の保育の中で成長していく姿がみられた1年でした。これからも異年齢での活動を通し子ども達がより楽しくあそびの中で学べるよう、環境を整え、子ども達と共に成長していくことを楽しみにしています。



〈担当 由比 真美〉



～旭西部地区～ 活動団体紹介

旭西部まちづくり推進会議と一緒に協力し合いながら、旭西部地区の住民の皆さんのための活動を行っている団体をご紹介します！



あさひのこどもを守る会



本会は、多くの会員（町内会・各小学校・PTA・青少協・旭民児協・塚ノ原駐在所・安全協会塚ノ原分会等）が会員相互の活動調整・情報の交換・共有化を図るため定例会（3か月に1回・第4火曜日）定時総会は6月に開催するとともに、昼夜の防犯パトロール（マイカーによる青色回転灯車）・児童の登下校時パトロール・街頭指導・通学路の安全チェック等の活動を行っております。

しかし令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、定時総会や定例会は中止、私たちの活動の集大成である「第14回安全・安心はまちづくり広報啓発パレード（旭小学校吹奏楽部を先頭に）も残念ながら中止の選択をしなければなりませんでした。会員たちは地域活動を途切れさせない強い思いもあり、コロナ禍の中で出来る活動をしてきました。

毎月第3火曜日の夜間パトロール（青パト同行）、青パトによる雨天等を除く登校日に横内小学校・旭小児童登下校時重点通学路の安全パトロール等の実施をしております。

また、交通安全協会塚ノ原分会（構成員14名）では、○重点交差点付近での交通指導として、春・夏・秋の交通安全週間・年末年始の10日間・毎月20日の県民交通安全の日・その他県警本部から依頼による日、○毎月15日（休日、土曜日は前後）塚ノ原駐在所交差点での夜間指導、○横内小学校児童の多く（300人程度）が横断する通学路交差点での交通指導、○旭小学校付近において毎月第3火曜日の夜間パトロール等々を実施するなどコロナに負けず頑張っております。

最後に私たち会員一同はコロナウイルスが早急に落ち着き通常の活動ができますよう心から願っております。

〈会長 長尾 達雄〉



旭小青少協

～本宮川生き物調査会～ (令和3年10月24日(日))

新型コロナウイルス感染症が落ち着いていたので、令和3年度も本宮川で生き物調査、水質調査を行いました。

生き物調査については、旭小学校3年生の希望者や高知大生、近隣住民の方々に調査しました。

大きなテナガエビ、ドンコ、アブラボテ（環境省基準絶滅危惧種）等を確認しました。

水質は昨年よりアップ！ホテルにとってもいい環境かなと思えました。



～第2回 フルーサンタのゴミ拾い～ (令和3年12月12日(日))

最近ゴミの少ない本宮川です。ゴミ拾い先々日に台風並みの風が吹き、本宮川は大量のゴミがありました。

旭小学校3年生（希望者）他の地域の方、ネット、チラシを見てゴミ拾いに参加していただきました。

当日は「がんばれ高知！！eco応援団」の取材もあり、eco（エコ）について各人考えた1日だったと思います。



〈旭小学校区青少年育成協議会 市川 月子〉

横内小青少協 ～こんにちは青少協です！～



令和3年度も令和2年度と同じく定期に実施している行事がほとんど中止になり、横内小学校に通う子どもたちと交流が出来ず大変残念な一年となりました。そんな中、長年継続して行っている夏休みでのキャンプ事業は、令和3年度初めて幡多郡大月町の柏島にて令和3年7月29日（木）に日帰りで「親子シュノーケリング体験」の活動を行いました。この事業は今まで室戸市の国立室戸自然の家で一泊二日または二泊三日で行い、送迎は自然の家専属のバスがあり利便性がありました。しかしながらこのコロナ禍、密になる懸念から施設の使用を断念せざるを得ない状況となっていました。子どもたちが楽しみにしているこの夏の一大イベントを何とか開催したいと模索していた中、現地集合現地解散なら可能ではとなり実行する運びとなりました。

当日は高知市からの移動時間も考慮し、12時30分の集合。最初に受け入れ先である、黒潮実感センターの神田優センター長より柏島の魅力を紹介いただき、その後タイムスケジュール・活動での注意事項等がありました。早速準備運動を行い乗船、ダイビングポイントに移動しシュノーケリング開始です。海上はあいにく北風が強く、水中は少し濁った透明度でしたがカマスの群れやクマノミなどの小魚も多数見られました。子どもたちは生き物を見つけると、歓声を上げ親やスタッフに笑顔で話しかけていて、その様子で今回の活動は成功したと感じた瞬間でした。

最後に、来年度も今までと同じような野外活動を実施して行くことは少なからず困難な部分もあるかと思いますが、子どもたちの「笑顔」に繋がる事業を継続したいと考えています。

〈横内小学校区青少年育成協議会 代表推進委員 会長 甲藤 浩之〉



《お出かけ出張サンタinあさひ♪》

高知市内では初めての開催となった「お出かけ出張サンタ」を無事に終えることができました！青年団、大学生、町内会等地域のみなさん総勢28名のサンタさんが、高知市旭地区の街に大集結♪22世帯47人の子供たちのお宅を訪問、プレゼントを渡して一緒にクリスマスをお祝いしました。

「子供たちの笑顔に、こちらが元気をもらえた☆」

と、参加したみなさんからの感想。子供たちの反応がダイレクトに返ってくる分、やりがいや達成感も多く感じる事ができたサンタ事業。また、コロナ禍で地域活動が難しかった中での若者や大学生と地域のおんちゃん達など、サンタさんを通じての世代交流も♪

ほかほかとした気持ちが溢れる聖夜となりました。

今回事業を行うにあたって、旭北町町内会のみなさんをはじめ、高知市町内会連合会、あさひの子どもを守る会、旭元町地区のみなさんなど多くの方にサポートいただき一緒にできたことが大きかったです。本当にありがとうございました！！

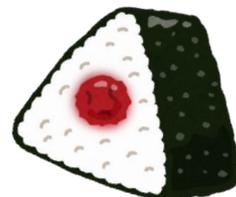
今後も少しずつ関係を広げ深めさせていただきながら、若者が地域に入っていけるような流れをさらにつなげて行きたいと思います。



〈ヤングジェネレーション高知 西村ひかる〉



こども食堂とりごえ



「だれでも 自由に 利用できます。」

場 所 健康カフェとりごえ 高知市鳥越1-1 (高知商業高校野球場バックネット下側)

開 店 毎月2回 (第1・3月曜日) 16時~19時

内 容 バイキング方式により各人が好きな食事ができるよう工夫します。

(注) 新型コロナウイルスの感染拡大防止期間中→入口で弁当を配布

17時~18時30分

負 担 来場者 無料

※大人の方に任意で寄付金として200円を受領しています。



●開設経緯

平成27年度から、県内に子ども支援の一環として「子ども食堂」が開設され、その活動の必要性・重要性が認められはじめました。

そうしたなか、地域内の団体・有志の方々から、開設について旭西部まちづくり推進会議会長の私に相談があり、子どもたちの支援のために貢献できることから開設を引受けることにしました。

しかしながら、県から補助金は少額、開設・運営に必要な施設・費用等の確保ができない状況にあったとき、地域内病院U理事長様より施設及び運営に必要な施設使用料・電気・水道料を無料提供するとのお話をいただき、平成30年(2018年)7月23日(月)に無事開設にこぎつけることができました。

●運営状況

【運営スタッフ】

地域内外の高齢者、U病院職員等によるボランティア

【食 材】

協賛企業、フードセンター、地元有志等からの提供により調達

【運営費用】

県の補助金、こども食堂利用等による寄付金

【その他】

1回に120人程度(令和4年3月現在)

〈こども食堂とりごえ実行委員会会長 天野守章〉



塚ノ原駐在所から



住民の皆様には、平素より高知警察署、塚ノ原駐在所への格別なるご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年は、横内小学校の児童の皆さんが思いを描く「みらいの川みらいの海みらいの私たち」として、未来の町、未来の乗り物、色鮮やかな花と魚たちを描き、明るい未来の到来を感じさせてくれるような素晴らしい水難事故防止ポスターが完成し、学校、町内掲示板や土佐道路能茶山ビジョンや行政電子掲示板、県警ホームページなど広く県民の皆様にご協力に事故防止を呼びかけていただきました。



また秋の交通安全運動にあわせ、塚ノ原保育園、もみのき幼稚園、横内小学校、旭中学校の児童生徒さんたちに様々なハートの絵を描いてもらい、そのハートを集めた「あいのあるうんてん」ポスターを横内小学校校区交通安全会議により北部環状線沿いに設置していただきました。ドライバーの皆さんがこのポスターや横断幕を見て、子どもやお年寄り、ほかの車や道路を通行する全ての人々に対する思いやりを持っていただくことが、事故を防ぐための一番の方法であると確信しております。



今後とも当駐在所が地域の安全を更に拡充できるように、住民の皆様のご意見ご協力をいただけるようお願いいたします。

〈塚ノ原駐在所 島田 幹広〉

3月	1月	11月	10月	7月	6月	5月	4月
<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙 14号の発行・配布 ・定例会 ・第10回 旭ゼミナール (旭北町町内会・自主防災会会長/イベント部) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・第9回 旭ゼミナール (高知市地域コミュニティ推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・高ノ森の桜の手入れ ・第14回 学ぼう災 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・第8回 旭ゼミナール (高知市社会福祉協議会地域協働課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高ノ森の桜の手入れ ・定例会 ・第7回 旭ゼミナール (高知市社会福祉協議会地域協働課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・第6回 旭ゼミナール (横内小学校教頭先生) 	<ul style="list-style-type: none"> ・総会 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会

旭西部まちづくり推進会議
令和3年度の活動

休会：令和3年8月、9月、12月、令和4年2月

仲間にどうぞ♪

旭西部地域のまちづくりを一緒に考えてみませんか？
旭西部まちづくり推進会議では、学ぼう災（防災訓練）、あさひ納涼祭、桜の手入れなどの運営スタッフを募集しています。
興味のある方は、高知市地域コミュニティ推進課までお気軽にお問い合わせください。

あさひ西方見聞録 Vol.14 2022年（令和4年）4月発行

編集：旭西部まちづくり推進会議
発行責任者：天野 守章
連絡先：高知市地域コミュニティ推進課
(TEL 8 2 3 - 9 0 8 0)